



卓 話



2014年8月21日 卓話 ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2580地区 鈴木 孝雄ガバナー

RIのテーマは“Light Up Rotary” 「ロータリーに輝きを」です。

今年度のRI会長 Gary C. K. Huang氏は、台湾出身の初めての中国人のガバナーです。



孔子をして、2500年前の最初のロータリアンと呼びました。孔子曰く「自分の行動を正しくし、家庭を治め、そして国を治めるのだ」「自分が他人にしてほしい事を 他人にしてあげなさい」これらは正しくロータリアンの言葉そのものです。

会長の強調することの一つは『会員増強』です。Rotary Familyである所の配偶者や家族を会員にしようとも仰いました。

もう一つは、『ロータリー財団への寄付』です。『End Polio Now』にあと少しです。財団への寄付の一部は地区に戻され目的に合致すれば立派に生かされるのです。

今年度国際ロータリー第2580地区としての目標とするところは三つあります。『職業奉仕の理念』をしっかり踏まえた上で、すべての活動を進めていただきたいのです。

ロータリー活動とは『職業奉仕の理念』を社会に植え付けようとする事です。『職業奉仕の理念』を以て、他の奉仕団体との違いを認識しましょう。そして、次に『会員増強』に努め、退会者を減らしましょう。

Rotary Familyには家族だけではなく、ロータリーの奉仕活動の対象となる若い世代の人達も含めて、共にロータリーを楽しみましょう。会員がもっとロータリーに参加したくなるようにしていきましょう。世間の多くの人に、ロータリーを知ってもらいましょう。

できるだけ「若い方々」にロータリーを推奨して、会員増強をし、良い仲間と楽しい時間を共有しま

しょう。これで本当の Enjoy Rotaryです。

三つ目が『青少年奉仕』活動です。ロータリーの奉仕活動にとって最も相応しく、やらなければならない奉仕活動だと思えます。新世代にロータリーの基礎となる考え方を伝え、理解してもらい、将来に繋げることが出来ればロータリー精神も継承され、ロータリアンも増えます。その意味でも我々は青少年に対する奉仕活動を自覚を以て推進するべきであると思えます。

クラブと地区の関係ですが、RIの構成員はそれぞれのクラブであり、クラブの構成員は皆さん会員一人一人です。各クラブの皆さんはクラブの独自性を取り入れて活動をしてください。地区はクラブの相談相手として存在しているのです。

『ロータリークラブのリーダー』に求めることとして、次のようなことが言われます。

他の会員の模範となりましょう。たった一年間の任期です。何かを成し遂げることよりも、少しでも良くしていきましょう。長期的見地からロータリークラブを考えましょう。そして長期的見地から地域を考えよう。

最後に、今年度の国際大会はサンパウロで開催されます。あまり訪問する機会の少ないところですが、日本人が過去に大勢ブラジルに渡り苦労して働いたところ。国際大会へ是非とも多くの会員に参加していただき、ブラジルを見ていただきたいのです。そして、思い出に残る一年にしましょう。